

2021 年度定時社員総会

議 案

決議事項

- 1) 2020 年度事業報告の件
- 2) 2020 年度決算書類の件
- 3) 理事交代の件

報告事項

- 1) 2021 年度事業計画ならびに正味財産増減予算書の件

一般社団法人 粉体粉末冶金協会
2020 年度事業報告書

1. 集 会

(イ) 定時社員総会（定款第 18 条）

○2020 年度定時社員総会

2020 年 5 月 26 日に東京：早稲田大学において開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症の情勢を踏まえ、参加者の安全と感染拡大防止を考慮し、書面による定時社員総会開催とした。2020 年 5 月 8 日に会長より代議員全員に対し、決議事項の提案書を提出し、代議員 45 名全員から書面表決書による議決権行使が行われ、5 月 26 日に承認可決する旨の定時社員総会の決議があったものとみなされた。

(ロ) 定期大会（定款第 4 条第 1 項）

○春季大会（第 125 回） 2020 年 5 月 26 日～27 日に東京：早稲田大学において開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症の情勢を踏まえ、参加者の安全と感染拡大防止を考慮し、中止とした。

○秋季大会（第 126 回） 2020 年 10 月 27 日～29 日

九州大学百年講堂での対面開催からオンライン開催に変更し、開催した。

講演件数：160 件（受賞記念講演 12 件、特別講演 6 件、招待講演 13 件、一般講演 129 件）

発表形態：オンデマンド動画による発表 117 件、オンデマンドスライド資料による発表 29 件、講演概要 PDF のみによる発表 14 件

参加者数：344 名

(ハ) 講演会・討論会（定款第 4 条第 1 項）

① 主 催

○2020 年度粉末冶金講座 現地対面による講演をオンラインで配信するハイブリッド形式で開催した。

i) 粉末冶金入門講座 7 月 10 日、名古屋大学で開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症の情勢を踏まえて、日程、会場を変更し、下記の通り開催した。

2020 年 10 月 2 日

名古屋：TKP 名古屋栄カンファレンスセンター

参加者数：79 名（現地参加 20 名、オンライン参加 59 名）

ii) 粉末冶金基礎講座

2020 年 11 月 26 日

京都：キャンパスプラザ京都

参加者数：89 名（現地参加 15 名、オンライン参加 74 名）

iii) 粉末冶金実用講座

2020 年 11 月 27 日

京都：キャンパスプラザ京都

参加者数：60 名（現地参加 10 名、オンライン参加 50 名）

ii) ならびに iii) については、同日、京都工芸繊維大学で開催予定であったが、ハイブリッド形式による開催を行うため、会場を変更した。

② 共 催

○第 17 回日本熱電学会学術講演会

2020 年 9 月 28 日～30 日

オンライン開催

主催：日本熱電学会

③ 協賛・後援

○安全工学シンポジウム 2020

2020 年 7 月 1 日～2 日

オンライン開催

主催：日本学会議

○第 50 回初心者のための有限要素法講習会（演習付き）

第 1 部：2020 年 7 月 27 日～28 日

オンライン開催

第 2 部：2020 年 8 月 25 日～26 日

オンライン開催

主催：日本材料学会

○第 33 回秋季シンポジウム

2020 年 9 月 2 日～4 日

オンライン開催

主催：日本セラミックス協会

○第 71 回コロイドおよび界面化学討論会

2020 年 9 月 14 日～16 日

オンライン開催

主催：日本化学会コロイドおよび界面化学部会

○第 30 回マイクロエレクトロニクスシンポジウム秋季大会（MES2020）

2020 年 9 月 17 日～18 日

オンライン開催

主催：エレクトロニクス実装学会

○SPring-8 シンポジウム 2020—ポスト・コロナ時代の SPing-8 利用—

2020 年 9 月 18 日

オンライン開催

主催：SPring-8 ユーザー協同体（SPRUC）

○日本ゾル-ゲル学会第 17 回セミナー「環境・エネルギー分野における湿式プロセス技術の可能性」

2020 年 9 月 25 日

オンライン開催

主催：日本ゾル-ゲル学会

○第 6 回材料 WEEK

- 2020年10月13日～16日
京都：京都テルサ（ハイブリッド）
主催：日本材料学会
- 第13回材料の衝撃問題シンポジウム
2020年10月13日～14日
京都：京都テルサ（ハイブリッド）
主催：日本材料学会
- 九州大学粉末冶金アドバンストコース講座：基礎講座
2020年10月15日～16日
オンライン開催
主催：九州大学ものづくり工学教育研究センター
- 第56回X線分析討論会
2020年10月28日～29日
オンライン開催
主催：日本分析化学会X線分析研究懇談会
- 第26回素形材月間事業
2020年11月
主催：素形材センター
- 九州大学粉末冶金アドバンストコース講座：実用講座
2020年11月5日～6日
オンライン開催
主催：九州大学ものづくり工学教育研究センター
- 軽金属学会第139回秋期大会
2020年11月6日～8日
オンライン開催
主催：軽金属学会
- 日本希土類学会第38回講演会
2020年11月11日
オンライン開催
主催：日本希土類学会
- 第40回電子材料研究討論会
2020年11月12日～13日
オンライン開催
主催：軽金属学会
- 令和2年度軽金属基礎技術講座「アルミニウムの製造技術」
2020年11月19日～20日
掛川：つま恋リゾート彩の郷
主催：軽金属学会
- 第71回塑性加工連合講演会
2020年11月14日～15日
オンライン開催
主催：日本塑性加工学会
- エコデザイン・プロダクツ＆サービスシンポジウム
2020（EcoDePS 2020）
2020年11月17日
オンライン開催
主催：エコデザイン学会連合
- 国際粉体工業展東京2020
2020年11月18日～20日
東京：東京ビッグサイト南ホール
主催：日本粉体工業技術協会
- 早稲田大学各務記念材料技術研究所オープンセミナー
「機能性セラミックスの新展開」
2020年11月20日
オンライン開催
主催：早稲田大学各務記念材料技術研究所
- 第32回軽金属セミナー「アルミニウム合金の組織―入門編（状態図と組織）（第10回）」
2020年12月4日
東京：貸教室・貸会議室内海
主催：軽金属学会
- 2020年度学際領域セミナー「一日でわかる全固体電池」
2020年12月11日～18日
オンライン開催（オンデマンド配信）
主催：電気化学会関東支部
- 第29回微粒化シンポジウム
2020年12月17日～18日
オンライン開催
主催：日本液体微粒化学会
- 第69/70回表面科学基礎講座「表面・界面分析の基礎と応用」
2021年1月14日～25日
オンライン開催（オンデマンド配信）
主催：日本表面真空学会
- 最近の化学工学講習会69「バリューチェーンと単位操作から見たリサイクル」
2021年1月23日
オンライン開催
主催：化学工学会関東支部
- 第26回高専シンポジウム in Yonago
2021年1月23日
オンライン開催
主催：高専シンポジウム協議会
- 第35回軽金属セミナー「マグネシウム合金の基礎技術」（第4回）
2021年2月12日
東京：貸教室・貸会議室内海
主催：軽金属学会
- 軽金属学会第114回シンポジウム「アルミ板材の冷間成形CAEの高精度化と自動車への適用」
2021年2月18日
東京：貸教室・貸会議室内海
主催：軽金属学会
- 第8回アジア結晶成長・結晶技術国際会議（CGCT-8）
2021年3月1日～4日
オンライン開催
主催：日本結晶成長学会
- The 8th Asian Conference on Crystal Growth and Crystal Technology（CGCT-8）
2021年3月1日～4日

オンライン開催

主催：CGCT-8 現地実行委員会

- 第2回世界エンジニアリングデー記念シンポジウム「ダイアログ：多様性と包摂性のある社会のための工学の未来」

2021年3月4日

東京：機械振興会館ならびにオンラインによるハイブリッド開催

主催：日本工学会

- 第116回シンポジウム「構造材料のための表面処理と腐食防食」

2021年3月12日

東京：貸教室・貸会議室内海

主催：軽金属学会

- 第35回エレクトロニクス実装学会春季講演大会

2021年3月17日～19日

オンライン開催

主催：エレクトロニクス実装学会

- 第34回金属セミナー「アルミニウム合金の組織—応用編（加工・熱処理による組織変化）」（第7回）

2021年3月19日

東京：貸教室・貸会議室内海

主催：軽金属学会

(二) 分科会・委員会（定款第4条第2項）

* 春秋大会における講演特集を企画実行したもの。

** オンライン開催

焼結基礎分科会

粉末製造委員会

焼結機構

メカニカルアロイング

外部支援プロセス

10月27日～29日*

硬質材料分科会

10月27日～29日*, 1月15日**

磁性材料分科会

フェライト委員会

10月27日～29日*

硬質磁性材料

10月27日～29日*, 12月22日**

粉体基礎分科会

粉体成形分科会

成形・加工委員会

等方圧加工技術

射出成形

粉末積層3D造形技術

9月4日**, 10月27日～29日*

新機能材料分科会

機能性複合材料委員会

10月27日～29日*

金属ガラス・ナノ金属結晶材料

3月12日**

光機能材料

傾斜機能材料

11月16日**

バイオインスパイアード材料

イオン伝導材料

11月4日

機能性酸化物材料

11月16日

電子部品材料

4月26日, 12月25日**, 1月26日**, 3月19日**

遷移金属（希土類）材料

自動車焼結部品分科会

10月27日～29日*, 3月2日**

集 会 別	総 会	定 期 大 会	講 演 会 ・ 討 論 会	分 科 会 ・ 委 員 会
回 数	1	1	39	19

2. 出 版 物（定款第4条第5項）

(イ) 粉体および粉末冶金 Vol. 67, No 4～Vol. 68, No 3 毎月15日, 合計12号 各号1400部発行. 掲載論文74件.

(ロ) 2020年度粉末冶金入門講座テキスト 100部発行

- (ハ) 2020 年度粉末冶金基礎講座テキスト 120 部発行
 (ニ) 2020 年度粉末冶金実用講座テキスト 80 部発行

3. 会員移動状況（2021 年 3 月 31 日）（定款第 5 条）

種 別 \ 年 度	2020 年 度 初 現 在 数	入 会 ・ 増 口	退 会 ・ 減 口	2020 年 度 末 現 在 数	+ 増加 - 減少
正 会 員	780 名	49 人	91 人	738 名	- 42 人
学 生 会 員	61 名	64 人	91 人	34 名	- 27 人
特 別 会 員	116 社 (182 口)	2 社 (2 口)	2 社 (2 口)	116 社 (182 口)	± 0 社 (± 0 口)

4. 表 彰（定款第 4 条第 6 項）

(イ) 令和元年度（2019 年度）協会賞受賞者表彰

2020 年 5 月 26 日に東京：早稲田大学において受賞式を開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症の情勢を踏まえ、参加者の安全と感染拡大防止を考慮し、受賞式は中止とし、賞牌の送付をもって表彰を行った。以下の 7 賞 48 名に賞牌を授与した。

功 労 賞	川崎 亮	
研究功績賞	大槻 主税	小林久理真
	田中 勝久	
技術功績賞	島田 登	中谷 和通
	広沢 哲	
研究進歩賞	東 正樹	岡 研吾
	山本 孟	酒井 雄樹
	田中 諭	野村 直之
	川崎 亮	和氣 剛
技術進歩賞	秋山 優	天野 暢也
	寺井 寛明	足立 有起
	杉谷 雄史	幸松美知夫
	松本 誠一	西田 元紀
	西田 真	素花 章
	龍岡 翔	石垣 卓也
	前田 徹	渡辺 麻子
	嶋内 一誠	
論 文 賞	松本 修次	松原 秀彰
	本多 淳史	松本 章宏
	杉浦 俊彦	小橋 真
	山本 真平	
技 能 賞	猪飼 和馬	小郷 裕司
	加藤 秀樹	衣笠 通恭
	熊谷 智広	小林 茂
	下田 幸司	長崎 武士
	東 裕之	松田 英明
	吉田 隆之	

(ロ) 2020 年度春秋大会優秀講演発表賞受賞者表彰

○2020 年度春季大会中止のため、同大会における賞の選

考は行わなかった。

○2020 年度秋季大会における学生会員の講演発表に対し、以下の 11 名に賞状を授与した。

麻 博隆（東北大学）、石野 佑樹（名古屋大学）、
 加藤 大夢（東北大学）、佐々木 和（東京理科大学）、
 重田 雄二（九州大学）、柴 勇輔（名古屋大学）、
 島田 寛幸（名古屋大学）、南部 洸太（東京理科大学）、
 若崎 翔吾（東京工業大学）、渡辺 順也（東京都市大学）、
 董 明琪（東北大学）

5. 庶務事項

(イ) 定時社員総会（定款第 18 条）

○2020 年度定時社員総会

決議があったとみなされた日：2020 年 5 月 26 日

議 事

決議事項

1. 2019 年度事業報告の件
2. 2019 年度決算書類の件
3. 役員選任の件
4. 名誉会員の件

報告事項

1. 2020 年度事業計画ならびに正味財産増減予算の件

(ロ) 理事会（定款第 37 条）

○2020 年度第 1 回理事会

決議があったとみなされた日：2020 年 5 月 8 日

議 事

1. 2019 年度事業報告承認の件
2. 2019 年度決算書類承認の件

○2020 年度第 2 回理事会

2020 年 6 月 5 日

京都：生産開発科学研究所ならびにオンラインにおいて開催

議 事

1. 代表理事たる会長、副会長及び常務理事選定の件
2. 運営委員選任の件
3. 参事委嘱の件

4. 顧問委嘱の件
5. 2020 年度秋季大会の件
6. 第 2 回粉末冶金講座の件
7. 協会賞推薦委員委嘱の件
8. 2020 年度, 2021 年度分科会活動計画の件
9. 代議員選挙の件
 - ①代議員選挙規程改正
 - ②2020 年度, 2021 年度代議員定数
10. 会員移動状況ならびに新入会員承認の件
11. 共催, 協賛の件
12. その他

①今後の理事会開催についての件

○2020 年度第 3 回理事会

2020 年 9 月 2 日

京都：生産開発科学研究所ならびにオンラインにおいて開催

議 事

1. 2020 年度秋季大会の件
2. 2021 年度春季大会の件
3. 粉末冶金講座の件
4. 2020 年度協会賞選考委員選出の件
5. 会員移動状況ならびに新入会員承認の件
6. 共催, 協賛の件
7. その他

- ①第 7 回国際研究集会参加助成の件
- ②九州大学粉末冶金アドバンストコース講座の件
- ③代表理事たる会長ならびに業務執行理事の職務状況報告の件

○2020 年度第 4 回理事会

2020 年 12 月 11 日

京都：生産開発科学研究所ならびにオンラインにおいて開催

議 事

1. 2021 年度春季大会の件
2. World PM2024 の件
3. 寄付金の件
4. 2020 年度決算予想の件
5. 新技術・新製品賞選考委員選任の件
6. 参事交代の件
7. 会員移動状況ならびに新入会員承認の件
8. 共催, 協賛の件
9. その他

- ①2020 年度秋季大会報告の件
- ②粉末冶金講座報告の件
- ③APMA 理事会報告の件

○2020 年度第 5 回理事会

2021 年 3 月 12 日

京都：生産開発科学研究所ならびにオンラインにおいて開催

1. 2021 年度春季大会の件

2. 2021 年度秋季大会の件
3. 2020 年度協会賞選考結果ならびに受賞式の件
4. 国際研究集会参加助成事業の件
5. 自動車焼結部品分科会引当資産運営規程の件
6. 2020 年度事業報告案, 計算書類案の件
7. 常務理事 2021 年度報酬の件
8. 国際会議ワーキンググループ設置の件
9. 2021 年度事業計画案および収支予算案の件
10. 分科会委員長交代の件
11. 粉末冶金講座実行委員委嘱の件
12. 日本粉末冶金工業会主催「粉末冶金・合同会社説明会」の件
13. 2021 年度定時社員総会開催の件
14. 国際共同利用・共同研究拠点認定の支援要望の件
15. 会員移動状況ならびに新入会員承認の件
16. 共催, 協賛の件
17. その他

①代表理事たる会長ならびに業務執行理事の職務状況報告の件

(イ) 監 査 (定款第 29 条)

2020 年 4 月 20 日

京都：生産開発科学研究所ならびにオンラインにおいて開催

2019 年度 (2019 年 4 月 1 日～2020 年 3 月 31 日) における事業報告, 計算書類およびその附属明細書の監査

6. 国際交流 (定款第 4 条第 4 項)

(イ) WorldPM2020 (Powder Metallurgy World Congress & Exhibition 2020)

2020 年 6 月 27 日～7 月 1 日, カナダモントリオールで開催予定であった WorldPM2020 は新型コロナウイルスのため開催中止となった。協会から事務局長を派遣する予定であったが, 派遣を中止した。

(ロ) Asian Powder Metallurgy Association (APMA)

○APMA の Newsletter を作成し, WorldPM2020 の展示ブースに APMA の紹介ブースを設け, 配布を予定していたが, WorldPM2020 は開催中止となった。

○第 12 回理事会

2020 年 6 月 29 日書面による理事会を開催 (議事録作成 2020 年 7 月 3 日)

議事:

- ①Transfer of secretariat to Taiwan
- ②Revision of APMA Bylaws
- ③Website updating and Management
- ④2019 Finance Report
- ⑤2020 Annual Fee

○第 13 回理事会

2020 年 8 月 28 日書面による理事会を開催 (議事録作成 2020 年 9 月 18 日)

議事:

- ①Share the annual fees of Global PM Property Database with JPMA in 2020 and EPMA, MPIF from 2021
- ②Cancel the APMA conference of 2021.
- ③Continue to pay annual fees from 2021.

7. 国際会議（定款第4条第4項）

2024年粉末冶金国際会議（Powder Metallurgy World Congress & Exhibition 2024：WorldPM2024）

日本粉末冶金工業会と共催により2024年10月14日～17

日、パシフィコ横浜において開催することが正式に決定した。

8. 国際研究集会参加助成（定款第4条第7項）

記念事業の一つとして国際研究集会に参加する者に対する助成を行うもので、本助成は、10年間にわたり年2回の募集を行うものであり、今年度も第7回、第8回の募集を行ったが、本年は新型コロナウイルス感染拡大に伴い、国際会議が中止またはオンライン開催となったため、本助成事業への応募はなかった。

2020 年度 財 務 諸 表 等

貸 借 対 照 表

2021 年 3 月 31 日現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	70,761,563	71,067,701	△306,138
前払金	438,670	412,500	26,170
未収金	463,155	887,737	△424,582
貯蔵品	24,836	19,306	5,530
流動資産合計	71,688,224	72,387,244	△699,020
2 固定資産			
(1) 特定資産			
退職給付引当資産	22,732,359	19,891,312	2,841,047
粉末冶金国際会議引当資産	1,934,905	1,934,905	0
国際フェライト会議引当資産	3,001,470	3,001,470	0
国際研究集会参加助成金引当資産	2,550,000	2,500,000	50,000
自動車焼結部品分科会引当資産	710,739	0	710,739
特定資産合計	30,929,473	27,327,687	3,601,786
(2) その他の固定資産			
什器備品	1	1	0
ソフトウェア	446,227	580,095	△133,868
定期預金	2,460,000	2,460,000	0
投資有価証券	22,443,371	22,443,371	0
その他の固定資産合計	25,349,599	25,483,467	△133,868
固定資産合計	56,279,072	52,811,154	3,467,918
資産合計	127,967,296	125,198,398	2,768,898
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	696,434	980,908	△284,474
預り金	516,163	575,043	△58,880
未払消費税等	258,300	509,000	△250,700
前受会費	22,767,000	23,091,000	△324,000
前受金	1,847,880	1,974,665	△126,785
流動負債合計	26,085,777	27,130,616	△1,044,839
2 固定負債			
退職給付引当金	22,732,359	19,891,312	2,841,047
固定負債合計	22,732,359	19,891,312	2,841,047
負債合計	48,818,136	47,021,928	1,796,208
III 正味財産の部			
1 指定正味財産	710,739	0	710,739
(うち特定資産への充当額)	(710,739)	(0)	(710,739)
2 一般正味財産	78,438,421	78,176,470	261,951
(うち特定資産への充当額)	(7,486,375)	(7,436,375)	(50,000)
正味財産合計	79,149,160	78,176,470	972,690
負債及び正味財産合計	127,967,296	125,198,398	2,768,898

正味財産増減計算書

2020年4月1日から2021年3月31日まで

(単位: 円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益	53,890,814	64,093,624	△10,202,810
① 特定資産運用益	64	66	△2
粉末冶金国際会議等引当資産受取利息	64	66	△2
② 受取入金	260,000	396,000	△136,000
受取入金	260,000	396,000	△136,000
③ 受取会費	32,091,000	32,553,000	△462,000
正会員受取会費	10,011,000	10,593,000	△582,000
特別会員受取会費	22,080,000	21,960,000	120,000
④ 事業収益	18,809,397	30,693,104	△11,883,707
講演会事業収益	6,962,200	19,521,870	△12,559,670
会誌頒布収益	1,225,275	1,427,562	△202,287
出版物頒布収益	468,072	331,236	136,836
掲載料収益	4,781,780	3,793,280	988,500
広告収益	5,372,070	5,619,156	△247,086
⑤ 雑収益	2,730,353	451,454	2,278,899
受取利息	293,993	293,533	460
雑収益	2,436,360	157,921	2,278,439
(2) 経常費用	53,628,863	61,363,669	△7,734,806
① 事業費	42,071,857	47,334,243	△5,262,386
役員報酬	4,725,000	0	4,725,000
給料手当	11,642,735	16,777,624	△5,134,889
臨時雇賃金	0	773,091	△773,091
役員退職慰労金	433,125	0	433,125
退職給付費用	1,788,253	1,415,345	372,908
福利厚生費	2,653,052	2,593,272	59,780
会議費	93,132	873,159	△780,027
旅費交通費	520,280	3,465,330	△2,945,050
通信運搬費	1,948,661	2,139,553	△190,892
消耗什器備品費	92,911	95,711	△2,800
消耗品費	235,882	362,943	△127,061
印刷費	10,865,662	10,906,048	△40,386
光熱水料費	186,648	184,951	1,697
賃借料	681,609	559,138	122,471
諸謝金	589,096	863,735	△274,639
租税公課	693,300	867,000	△173,700
支払負担金	25,000	222,560	△197,560
講演大会費	3,914,511	3,987,608	△73,097
協会賞費	979,000	958,176	20,824
国際会議費	0	0	0
国際研究集会参加助成金	0	200,000	△200,000
雑費	4,000	88,999	△84,999
② 管理費	11,557,006	14,029,426	△2,472,420
役員報酬	2,025,000	0	2,025,000
給料手当	4,989,743	7,190,410	△2,200,667
臨時雇賃金	0	331,324	△331,324
役員退職慰労金	185,625	0	185,625
退職給付費用	766,394	606,577	159,817
福利厚生費	1,137,022	1,132,234	4,788
会議費	57,214	738,259	△681,045
旅費交通費	114,850	2,014,680	△1,899,830
通信運搬費	370,335	303,368	66,967
減価償却費	133,868	89,245	44,623
消耗什器備品費	39,819	61,820	△22,001
消耗品費	102,102	155,975	△53,873
印刷費	206,250	92,720	113,530
光熱水料費	79,992	79,265	727
賃借料	292,118	239,630	52,488
インターネット関連費	197,832	251,104	△53,272
支払負担金	62,088	61,405	683
支払報酬	462,000	409,920	52,080
支払手数料	286,581	211,870	74,711
雑費	48,173	59,620	△11,447
当期経常増減額	261,951	2,729,955	△2,468,004
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	261,951	2,729,955	△2,468,004
一般正味財産期首残高	78,176,470	75,446,515	2,729,955
一般正味財産期末残高	78,438,421	78,176,470	261,951
II 指定正味財産増減の部			
受取寄付金			
受取寄付金	710,739	0	710,739
当期指定正味財産増減額	710,739	0	710,739
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	710,739	0	710,739
III 正味財産期末残高	79,149,160	78,176,470	972,690

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券…購入時の取得価額によっている。(償却原価法については、取得価額と債券金額との差額について重要性に乏しいため、適用していない。)

(2) 固定資産の減価償却の方法

定額法による減価償却を実施している。

(3) 引当金の計上基準

退職給付引当金…期末退職給与の要支給額に相当する金額を計上している。

(4) 消費税等の会計処理

消費税の会計処理は、税込方式によっている。

2. 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は次のとおりである。

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
退職給付引当資産	19,891,312	3,159,287	318,240	22,732,359
粉末冶金国際会議引当資産	1,934,905	0	0	1,934,905
国際フェライト会議引当資産	3,001,470	0	0	3,001,470
国際研究会参加助成金引当資産	2,500,000	50,000	0	2,550,000
自動車焼結部品分科会引当資産	0	710,739	0	710,739
合 計	27,327,687	3,920,026	318,240	30,929,473

3. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
特定資産				
退職給付引当資産	22,732,359	—	—	(22,732,359)
粉末冶金国際会議引当資産	1,934,905	—	(1,934,905)	—
国際フェライト会議引当資産	3,001,470	—	(3,001,470)	—
国際研究会参加助成金引当資産	2,550,000	—	(2,550,000)	—
自動車焼結部品分科会引当資産	710,739	(710,739)	—	—
合 計	30,929,473	(710,739)	(7,486,375)	(22,732,359)

4. 固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

科 目	取得価格	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	2,001,900	2,001,899	1
ソフトウェア	669,340	223,113	446,227

5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価格、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価格、時価及び評価損益は、次のとおりである。

科 目	帳簿価格	時 価	評価損益
BPCE SA 第2回非上位円貨社債	4,000,000	4,002,400	2,400
第3回ソフトバンクグループ	8,000,000	7,999,200	△800
ドイツ銀行ロンドン支店	10,443,371	9,712,000	△731,371
合 計	22,443,371	21,713,600	△729,771

附 属 明 細 書

1. 特定資産の明細は、財務諸表の注記に記載しているので省略している.

2. 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	19,891,312	3,159,287	318,240	0	22,732,359

2021 年 4 月 26 日

監 査 報 告 書

一般社団法人粉体粉末冶金協会

会長 吉村 一良 殿

監事 中平 敦 
監事 金谷 山 色 
監事 菊池 克 
監事 高橋 俊行 
監事 筒井 明之 

私たち監事は、2020 年 4 月 1 日から 2021 年 3 月 31 日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。

その方法及び結果について、次の通り報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書について検討いたしました。

2 監査意見

（1）事業報告書の監査結果

- ① 事業報告書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実はありません。

（2）計算書類及びその附属明細書の監査結果

計算書類及びその附属明細書は、法人の財産及び損益の状況を全ての重要な点において適正に示しているものと認めます。

以 上

理事交代の件

退任理事

西 口 昭 洋 ((株)神戸製鋼所)

新 見 義 朗 (福田金属箔粉工業(株))

新理事候補者

門 脇 良 策 ((株)神戸製鋼所)

新 保 洋一郎 (福田金属箔粉工業(株))

2021 年度事業計画書

2021 年度においては、各事業の積極的展開を進める。粉体・粉末冶金に関する研究の連絡提携および促進をはかり、もって学術の発達および技術の向上に寄与することを目的とし、具体的計画の実施に努める。

各事業の内容については、各事業項目に記載の通りである。

1. 研究発表会、学術講演会

春秋2回の研究発表講演会を行う。春季大会はオンラインによる講演を行うが、秋季大会については、新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み、開催方法については検討する。また、分科会・委員会主催の講演会はオンライン開催を利用するなど、積極的に企画、開催を行う。一昨年度から開始した粉末冶金講座を本年も「入門」「基礎」「実用」の3講座に分けて企画、開催する。

なお、特定研究題目について本会単独あるいは他学協会との共催のもとに、シンポジウムを行う。特に春秋大会において、従来の講演特集テーマの見直しを行うとともに、新分野の特別講演等を軸に、新分野取り込みを図る。また、会員へ企画セッションテーマを公募し、幅広く、新しい特集を企画する。

2. 内外関連団体との連絡および提携

従来行っている内外学術団体との会誌交換や講習会、講演会、討論会等の共催または協賛をひきつづき行う。

また、日本粉末冶金工業会をはじめ、関連工業会との連携を深め、共同の事業展開や国際化を推し進める。中でもアジア地区の粉末冶金工業の発展を目的として設立したアジア粉末冶金連合（APMA）の活動に参加し、各国団体との連携を深める。

3. 協会誌の発行

学会誌「粉体および粉末冶金」を冊子体で12号発行し、併せてJ-Stageのオンラインジャーナルに登載する。

投稿数は、減少傾向にある中、特に昨年度春季大会の中止を受けて、特集号の企画が難しい状況にあるが、秋季大会の講演特集で発表された研究発表の内容を中心に論文投稿を呼びかけ、特集号を企画できるよう図っていく。また、解説、総説等の執筆を依頼し、一層の充実を図る。その一つとして、粉末冶金技術に関する粉体、成形、焼結、材料についての解説をシリーズとして企画しているが、順次掲載を進めていく。

引き続き共同刊行物“Materials Transactions”誌に参画し、当協会誌掲載論文の英訳投稿を可能としていくが、2021年4

月より投稿審査システム運用の一本化（暫定的）が始まる。これに協力をしていくと共に、会員に周知を図る。

4. 表彰

功労賞、研究功績賞、技術功績賞、研究進歩賞、技術進歩賞、論文賞、新技術・新製品賞および技能賞の各種協会賞につき推薦募集、選考を行い各々の該当者を表彰する。特に新技術・新製品賞については、特別会員、維持会員を中心に広く応募を呼びかけ、まずは投稿をして頂くよう周知を図る。

また、春秋大会において学生会員の発表に対し、審査、選考を行い、優秀講演発表賞の表彰を行う。

5. 会員の増募、増口

会員数・口数の増加と活動の強化を図るため、特別会員に対して入会のメリットを明確にするとともに、各種の特典制度の検討を行い、会員増強を図る。

6. 分科会活動

各分科会では、委員会を中心として、次の事業を積極的に展開する。

- ①委員会毎の研究・発表会、討論会の開催
- ②春秋大会における講演特集の企画と運営
- ③セミナー・講座の企画と運営
- ④公開分科会の開催

また、分科会組織の活性化のために、会員に参加を促すよう分科会の情報を積極的に周知する。

7. 国際交流

新型コロナウイルス感染症の影響で、APMA2021（2021年アジア粉末冶金国際会議）の開催は中止となったが、引き続き Asian Powder Metallurgy Association の加盟団体と情報交換を行う。

8. 国際会議

2022年度に当会主催の国際会議を開催することを目的として、ワーキンググループを立ち上げ、国際会議開催について検討を行う。

また、2024年に開催する WorldPM2024 については、日本粉末冶金工業会と協力して開催準備を進める。

9. ホームページ

ホームページを通じて、会員にさまざまな情報発信を行う。

10. 国際研究集会参加助成

海外で開催される国際会議への若手研究者の参加に対し助成金を交付する。年2回公募を行い、選考の上、6件程度の助成を行う。

正味財産増減予算書

2021年4月1日から2022年3月31日まで

(単位：円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益	58,620,070	60,120,070	△1,500,000	
①特定資産運用益	70	70	0	
粉末冶金国際会議等引当資産受取利息	70	70	0	
②受取入会金	340,000	340,000	0	
受取入会金	340,000	340,000	0	
③受取会費	32,500,000	32,500,000	0	
正会員受取会費	10,500,000	10,500,000	0	
特別会員受取会費	22,000,000	22,000,000	0	
④事業収益	25,400,000	26,900,000	△1,500,000	
講演会事業収益	15,000,000	17,000,000	△2,000,000	
会誌頒布収益	1,200,000	1,200,000	0	
出版物頒布収益	300,000	300,000	0	
掲載料収益	3,500,000	3,000,000	500,000	
広告収益	5,400,000	5,400,000	0	
⑤雑収益	380,000	380,000	0	
受取利息	250,000	250,000	0	
雑収益	130,000	130,000	0	
(2) 経常費用	62,301,000	66,493,000	△4,192,000	
①事業費	48,750,000	51,232,000	△2,482,000	
役員報酬	6,300,000	4,725,000	1,575,000	
給料手当	10,900,000	12,870,000	△1,970,000	
臨時雇賃金	777,000	777,000	0	
役員退職慰労金	0	433,000	△433,000	
退職給付費用	1,460,000	1,414,000	46,000	
福利厚生費	2,450,000	2,450,000	0	
会議費	1,400,000	1,400,000	0	
旅費交通費	2,500,000	4,300,000	△1,800,000	
通信運搬費	2,300,000	2,200,000	100,000	
消耗什器備品費	200,000	200,000	0	
消耗品費	350,000	300,000	50,000	
印刷費	11,000,000	11,000,000	0	
光熱水料費	183,000	183,000	0	
賃借料	840,000	560,000	280,000	
諸謝金	800,000	800,000	0	
租税公課	800,000	800,000	0	
支払負担金	300,000	300,000	0	
講演大会費	5,000,000	5,000,000	0	
協会賞費	850,000	900,000	△50,000	
国際会議費	0	250,000	△250,000	
国際研究集会参加助成金	300,000	300,000	0	
雑費	40,000	70,000	△30,000	
②管理費	13,551,000	15,261,000	△1,710,000	
役員報酬	2,700,000	2,025,000	675,000	
給料手当	4,680,000	5,400,000	△720,000	
臨時雇賃金	333,000	333,000	0	
役員退職慰労金	0	186,000	△186,000	
退職給付費用	625,000	606,000	19,000	
福利厚生費	1,050,000	1,050,000	0	
会議費	1,000,000	1,000,000	0	
旅費交通費	1,000,000	2,500,000	△1,500,000	
通信運搬費	330,000	290,000	40,000	
減価償却費	134,000	90,000	44,000	
消耗什器備品費	100,000	100,000	0	
消耗品費	168,000	150,000	18,000	
印刷費	200,000	200,000	0	
光熱水料費	79,000	79,000	0	
賃借料	360,000	240,000	120,000	
インターネット関連費	0	220,000	△220,000	
支払負担金	62,000	62,000	0	
支払報酬	470,000	470,000	0	
支払手数料	210,000	210,000	0	
雑費	50,000	50,000	0	
当期経常増減額	△3,680,930	△6,372,930	2,692,000	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	△3,680,930	△6,372,930	2,692,000	
一般正味財産期首残高	78,950,394	78,176,470	773,924	
一般正味財産期末残高	75,269,464	71,803,540	3,465,924	
II 指定正味財産増減の部				
指定正味財産期首残高	710,739	0	710,739	
指定正味財産期末残高	710,739	710,739	0	
III 正味財産期末残高	75,980,203	72,514,279	3,465,924	